

兵庫県 Sさん

別府&臼杵ふぐと長湯温泉、弾丸フェリーの旅

大分の温泉に行きたくて、前々から気になっていた「弾丸フェリー」。
色々調べていたら「半券 de お得」というものを使うと、臼杵のふぐランチがお得な特典付きで 3000 円（税別）で食べられるらしい。ふぐ料理と言えば「下関」と世間相場は決まっているが、臼杵ご自慢の肉厚ふぐを試してみたくなり、温泉ついでに弾丸フェリーで行ってみることにしました。

仕事の都合で出発が土曜になってしまい、楽しみにしていた JAZZ 演奏はなかったものの、ラッキーなことに紙テープ投げのイベントをやってみました。これがなかなかの感動イベントで、昔の映画によく出る港の出航シーンのようで、風にたなびく色とりどりの紙テープが旅情を一層盛り立ててくれます。



船内レストランで、バイキングと生ビールでワイワイやっていたら、いつの間にか明石海峡大橋も見逃してしまい、結局はレストランの閉店まで粘ったので、だいぶ酔っぱらってしまいました。酔い覚ましも兼ねて大浴場で汗を流し、部屋に帰って間もなくしたら寝落ち状態で朝まで爆睡でした。

翌日朝、目覚めればそこはすでに大分。
12 時間の航海とはいえ半分以上は爆睡していたので、正直あっという間に大分に到着した感じでした。船上から遠くに見る別府の街には、いたるところから蒸気が立ち上っていて、その風景だけでも旅行気分を盛り上げてくれます。



今回は、臼杵だけでなく長湯温泉まで足を伸ばしたかったので、ニコニコレンタカーを借りましたが、港での受け渡しが手間なく超簡単。激安のニコニコは、激安の弾丸フェリーとの相性もピッタリです。



せっかく大分に来たので、別府の地獄蒸しプリンと温泉ゆで卵を食べに明礬温泉の岡本屋へ。前も同じものを食べましたが、ちょっとビターなキャラメルが癖になりリピートしてしまいます。

明礬温泉の湯の花小屋をちょっと覗いた後は、別府 IC から一路目的地の臼杵へ。臼杵といえば国宝でもある定番の石仏。雨模様の天気も手伝って荘厳な雰囲気漂っていました。現在は、写真の通り石仏の首が繋がっていますが、昔は仏頭だけ下に転がっていて（大昔の地震の影響らしい）、胴体と頭が別々にあるのが定番でしたが、何年か前に元通りの位置に戻して首が繋がったらしい。このことから、参拝すると石仏のように首が繋がる、いわゆる会社でリストラされないという話題になりました。私も気合を入れて祈願しておきました。



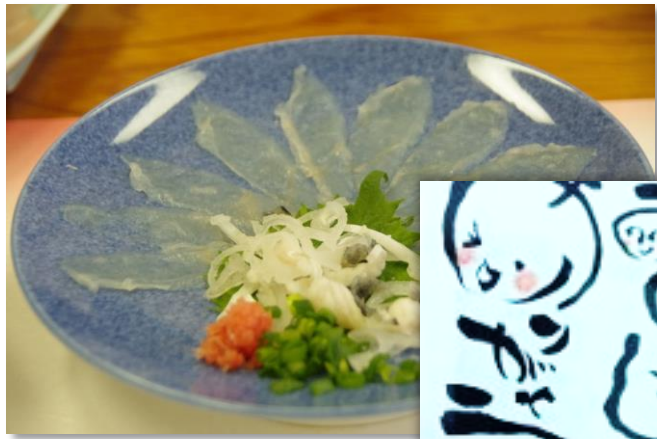
次に、城下町の風情を残している二王座の町並みへ行きました。

国の都市景観 100 選にも選ばれているらしく、往時の賑わいを感じさせる情緒ある町並みで、特に石畳や石積みの色が、関西とは違い黒く重みのある色合いの石で、阿蘇の火山灰からできた九州ならではの独特な雰囲気を醸しています。

武士や商人など、当時の着物姿の人たちが道の向こうから普通に歩いて来ても、なんの違和感もない風景で、江戸時代にでもタイムスリップしたような錯覚を覚えます。帰り道の商店街の造り酒屋で、酒粕を使って醸造した 30 年物の焼酎を見つけ、嫁さんが試飲したところ独特な風味で美味しいとのこと。早速 1 本お買い上げしました。（本当に美味しかった）



そろそろお目当ての「ふぐランチ」の番ですが、今回選んだお店は山庵（やまなん）さん。半券 de お得の特典「てっちり」もついてちょっとお得なセットだったので迷わず選択。ふぐ料理が美味しいのは言うまでもなく、お店の方のおもてなしも良くて大正解でした。写真にあるように、名前入りの手書きの絵葉書がさりげなくテーブル



に立てあり、絵葉書のセンスの良さとその気遣いに感激です。またお土産として「ふぐのひれ」をいただいたので、帰ってからのひれ酒が楽しみです。3000円でこの料理内容は絶対お得です。

臼杵を後にして、前から興味があった長湯温泉に足を延ばしてきました。

長湯温泉は、ラムネ温泉といわれるように、炭酸ガスを多く含んでいる低温の温泉で、気泡が体全体に付着している様子はまるでラムネの中に浸かっているようです。この炭酸ガスは、低温でないとうまく発生しないようで、最初入った時はちょっと肌寒い感じがしましたが、長く浸かっていると少しずつ体も慣れてきて、次第に適温になってきます。



今回入場したラムネ温泉館は、嵐山光三郎先生・南伸坊先生などの有名な方々が参画して作られたそうで、建物の設計だけでなく、入口看板のロゴや中庭に立っている犬の銅像など、細部亘りデザインに拘っていて、見るだけでも楽しませてくれる温泉館でした。一方、川に目をやると「ガニ湯」と呼ばれる本格的な混浴露天風呂がありましたが、周りになんの仕切りもなく丸見え状態でしたので、さすがに裸で入るには相当な勇気が必要ですので、入浴は遠慮させていただきました。



長湯温泉を後にして別府港のさんふらわあを目指し、今回の大分の旅は無事終了です。この弾丸フェリーツアーは、現地1日とはいえ相当なポテンシャルがあるようで、これからも温泉名人を目指して時々リピートしたくなってきました。手軽で良い旅でした！